

平成27年度 えりも高校第1回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：6月8日～6月19日

質問項目（各教科・科目共通）

| | | |
|--------------------|---|---------------------------|
| 教科担任 に関する 項目 | ① | 授業のねらいを明確にしている。 |
| | ② | 教え方や説明・指示はわかりやすい。 |
| | ③ | 授業の進め方・速さはちょうどよい。 |
| 生徒自身 に関する 項目 | ④ | 授業規律を守って学習している。 |
| | ⑤ | 授業に積極的・主体的に参加している。 |
| | ⑥ | 授業で基礎的・基本的な知識や技能が習得できている。 |

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

| | |
|---|---------------|
| 4 | そう思う。 |
| 3 | どちらかというと思う。 |
| 2 | どちらかというと思わない。 |
| 1 | 思わない。 |

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

| | |
|--------|-----|
| 4以上 | A評価 |
| 3.25以上 | B評価 |
| 2.5以上 | C評価 |
| 2.5未満 | D評価 |

国語科

1 評価が高かった項目について

①②③④に関して、全学年で高い評価を得ることができた。

今後とも、各単元や各授業における「ねらい」を明確にし、生徒自身が目的を持って学習に臨めるように心がける。

2 評価が低かった項目について

1学年における④の評価が低かった。他学年においても④については他の項目より低く評価している傾向があるので、生徒自身の活動を増やすなど、生徒自身が「自主的に参加している」と思える授業の組み立てを工夫する。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

生徒の発言を引き出すことをことのできるような発問になるように工夫する。

地歴公民科

1 評価が高かった項目について

①について、授業の冒頭に、本時の課題の提示等を行うことで、授業に見通しを持たせることができた。

2 評価が低かった項目について

2学年政治・経済の②でC評価 → 基本的事項の定着を図るよう工夫したい。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

特になし

数学科

1 評価が高かった項目について

①～③の項目は、全学年ともほぼA評価であるので、内容・進度ともに妥当であると考えられる。今後も生徒ひとりひとりに対応したきめ細かい指導を心がけていきたい。

2 評価が低かった項目について

⑤⑥の項目でB評価またはC評価がみられることから、数学に対する自信のなさがうかがえる。生徒の動きを確認しながら、きめ細かい指導を心がけていきたい。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

今後も習熟度別授業の特性を活かし、生徒の理解度に応じた指導を心がけていきたい。

理科

1 評価が高かった項目について

①が比較的高評価であった。今後も授業のはじめに目標や内容を示すことを続けていきたい。

④については、今後ともメリハリを持って授業を受けさせたい。

2 評価が低かった項目について

②→生徒の様子を見ながら進度を考えていきたい。

⑤→書いたり、発言したりする主体的な活動を増やす

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

学力差の広い集団に対して授業を行うため、苦手な生徒に対してフォローしたり、上位層が意欲的に取り組める課題を用意するなどの工夫を行いたい。

保健体育科

1 評価が高かった項目について

授業規律の徹底を継続する。生徒が積極的、主体的に参加できる授業にしていく。

2 評価が低かった項目について

特になし。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

1年生女子体育で⑥の項目がBだったので、基礎的、基本的な技能の習得を重点的に取り組む。

英語科

1 評価が高かった項目について

①、④の項目が全体的に高かったので、今後も授業の狙いが何であるのかを明らかにした授業展開を心がけ、規律のある授業を行っていききたい。

2 評価が低かった項目について

2年英語表現Ⅰ②⑥・3年コ英Ⅱ⑥

無理に覚えさせる授業スタイルを、説明を中心とした「わかる」授業づくりを意識して展開していききたい。また、全体的に⑥が低い評価になっているため、基礎的・基本的部分の定着を図るために、パターンプラクティスや反復学習等の取組をもっと行っていききたい。

3 その他に気付いた点や、今後行っていききたい活動

習熟度別授業を行っている科目について、下のクラスで「理解できていない」と感じている割合が多いため、生徒の理解度に合った授業展開を行っていききたい。

家庭科

1 評価が高かった項目について

授業速度は、全国家庭科研究会で、話し方の講座があり、それを参考にして改善した。

2 評価が低かった項目について

2年生にアクティブラーニングを初めて導入し、その直後に取ったアンケートである。生徒もこの授業を受けるのが初めてで、指示に戸惑う。また、進め方もほとんど班で決めていく方針にしたため、何をどうしていいか生徒は分からなかった人もいる。昨年のように何度か行くと生徒も要領を得るので、指示待ちではなく、自己判断で動く指導を引き続きしていききたい。

3 その他に気付いた点や、今後行っていききたい活動

授業の課題を研究会や講師の内容を参考にして導入すると効果がある。引き続き言語能力を伸ばす指導を充実させていききたい。1年生は、自主的に授業参加の態度を養うため、発言や板書発表をこちらで当てず、行いたい人が出る方針に切り替えた。生徒の積極的な態度を1年間育てていききたい。

情報科・商業科

1 評価が高かった項目について

①～⑥すべての項目で高評価だった。説明と生徒の実習の配分に気を付けながら、授業を進めていききたい。

2 評価が低かった項目について

特になし。

3 その他に気付いた点や、今後行っていききたい活動

アクティブラーニングを積極的に実施し、言語活動の充実はもちろんのこと、互いに支え合い、学び合う関係を教科を通じて形成していききたい。